

発達障害のある方が、 社会に出る前に 身につけておきたいこと ～大人の事例を通して

各ライフステージでの獲得スキルを考える～

青年成人期を迎えた発達障害者からの相談は、全国的に急増しています。本人・保護者は、「仕事をしたい」「自立をしてほしい」と希望しますが、実際は就労以前の課題を持っている方も多く、社会的な自立の難しさを感じております。将来的に困らずに生活自立をしていくために、各ライフステージにおいて身につけておかなければいけないスキルとは何かを、今回、米田先生のご経験を通してご講義頂きます。また、「障害」の型にはめずに、我が子を見つめていく我が子のスペシャリストになっていくために保護者の役割についてもご示唆頂きます。



NPO法人ラヴィータ研究所
子ども発達相談センター・リソース「和」

所長 **米田 和子** 氏

講師

[講師プロフィール]

大阪教育大学を卒業後、35年間小学校教員として教鞭を取りながら、LD研究会や親の会を立ち上げ活動を展開。退職後は、教育センター専門指導員、プール学院大学講師を経て、現在の職に至る。各市のペアレントトレーニングや、巡回相談で学校への指導にもあたる。

資格 日本LD学会特別支援教育士 SV
学校心理士 / 臨床発達心理士 他

日時

平成 28 年

7/2 (土)

受付 12:20～

13:00
↓
16:30

資料代

500 円

定員 **350** 名

対象 **発達障害者当事者 / 保護者 / 支援者
一般の方等**

お申込方法

チラシ裏面の参加申込書を FAX、
または同内容を E-mail にてお送り下さい

FAX 073 - 413 - 3020

E-mail polaris@jtw.zaq.ne.jp

お申込完了後、こちらからはご連絡致しません、
あらかじめご了承ください
お申込後、万一欠席される場合はその旨ご連絡下さい
ご理解とご協力の程、よろしくお願い致します

場所

北コミュニティセンター

和歌山市直川 326-7 さんさんセンター紀の川内



P 駐車台数に
限りがあります。
ご注意ください

主催：和歌山県発達障害者支援センター ポラリス
後援：和歌山県教育委員会 和歌山市教育委員会
和歌山市

協力団体：NPO法人和歌山県自閉症協会 どんえもんの会
ほっぷ和歌山 ペアレント・メンター協会